



（写真）Higgsfield “「国際通貨基金（IMF）」が公表した経済指標（2025年10月版）を紹介”

IMF のベネズエラ経済統計

2025年 経済成長に黄色信号

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

国 際通貨基金（IMF）は毎年4月と10月に各国の基礎経済指標および経済見通しを更新している。

ベネズエラ統計当局のデータは更新が極めて遅れており、また情報の信頼性には疑問も多い。そのような事情から IMF の経済指標はベネズエラの現状および過去からの経済実績を把握する上で重要なツールと言える。

本稿では、IMF が2025年10月に更新したベネズエラおよび中南米諸国の基礎経済指標について紹介したい。

次ページにて2017年以降のベネズエラの基礎経済指標を紹介している。

ベネズエラは2014年に原油価格の下落を受けてマイナス成長となった。16年に原油価格が底を付き経済回復の期待が高まったが、17年に抗議行動が激化、同年に経済制裁を受けて、2020年まで2桁のマイナス成長が続いていた。

しかし、21年に米国がバイデン政権に交代。対ベネズエラ方針が緩和したことを受けて7年ぶりにプラス成長を記録。

22年にはロシアのウクライナ侵攻によりエネルギー供給不安が拡大。原油価格が高騰したことで、ベネズエラの経済成長率は前年比8%と大きく回復した。

その後もベネズエラへの制裁緩和が継続し、産油量は徐々に回復。それに伴い2023年（前年比4.0%増）、24年（同5.3%増）と経済回復が続いた。

しかし、2025年にトランプ政権（2期目）が発足し、対ベネズエラ方針を再び硬化。

バイデン政権下でPDVSAとの取引を許可していた「Repsol」「Eni」「Reliance」などの制裁ライセンスの更新を25年5月末にて停止。

「Chevron」については同時期に制裁ライセンスを止めたが、7月より「マドゥロ政権に現金が流入しない」という条件で制裁ライセンスを再発行しており、Chevronについては事業が再開している。

ベネズエラの外貨収入は今も石油産業に依存しており、この構造は容易に変えることはできない。

中国へ輸出することで一定の外貨流入を維持しているが、大幅なディスカウントを余儀なくされており、ベネズエラへの外貨流入は減少。民間セクターにマイナスの影響が出始めている。

また、中央銀行の外貨供給能力が減少したことで、為替レートของボリバル安が進行しており、これがボリバル建てでの物価高騰を引き起こしている。

表：ベネズエラの主要経済指標

項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
国内総生産（GDP）	10億ドル	115.9	102.0	73.0	42.8	56.6	89.0	102.4	119.8	82.8
一人当たりGDP	ドル	3,806.7	3,529.7	2,624.8	1,532.6	2,052.3	3,306.9	3,828.5	4,510.4	3,102.9
実質GDP成長率	%	△ 15.7	△ 19.7	△ 27.7	△ 30.0	1.0	8.0	4.0	5.3	0.5
インフレ率（平均値）	%	438.1	65,374.1	19,906.0	2,355.1	1,588.5	186.5	337.5	49.0	269.9
財・サービス輸入増減率	%	△ 34.7	0.3	△ 22.2	△ 27.3	△ 2.2	10.7	20.8	13.4	△ 1.5
財・サービス輸出増減率	%	△ 0.0	△ 10.8	△ 11.5	△ 65.2	△ 27.2	31.5	16.5	11.9	17.4
人口	百万人	30.4	28.9	27.8	28.0	27.6	26.9	26.7	26.6	26.7
失業率	%	27.9	35.6	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d
歳入（対GDP比）	%	8.5	6.9	10.1	4.5	7.3	9.8	11.9	14.0	n/d
歳出（対GDP比）	%	21.8	37.9	21.0	11.2	13.1	15.1	13.1	17.6	n/d
政府債務（対GDP比）	%	133.6	175.3	206.0	336.5	254.2	164.4	138.5	164.3	n/d
経常収支（対GDP比）	%	7.5	8.4	5.9	△ 3.2	△ 0.9	4.0	5.8	4.9	4.3
経常収支	10億ドル	8.7	8.6	4.3	△ 1.4	△ 0.5	3.6	6.0	5.8	3.5

（出所）IMF World Economic Outlook（2025年10月）※n/dはデータなし

は予測値

このような背景から IMF は 2025 年の実質 GDP 成長率を前年比 0.5% 増と予想している。

一応プラス成長を維持しているが、ここ数年の経済成長率と比較すると先行きに大きな懸念を感じる数値と言えるだろう。

また、2025 年のインフレ率については前年比 269.9% 増と見込んでいる。

慢性的なインフレ国であるベネズエラにおいて、年率 270% というインフレ率は特別高い数字ではないが、2024 年には年率 49% と 2 桁までインフレ率を抑えることが出来ていた。

それを踏まえると、物価高騰が加速していることは間違いなく、このまま 2018 年～2021 年に起きたようなハイパーインフレに陥る可能性も否定できない。

なお、制裁強化を受けたにも関わらず 2025 年の「財・サービス輸出増減率」は前年比 17.4% 増と増えている。

制裁が強化されたにも関わらず、増加していることに違和感はあるが、この項目は「金額」ではなく「輸出総量」であることが理由である。

ベネズエラは 2025 年に制裁強化を受けた後も産油量は減らしておらず、輸出量も一定の水準を維持している。

中国向けの輸出が増加することで「輸出総量」としては前年比 17.4% 増になると IMF が予想していることになる。

ただし、前述の通り、中国向けの原油輸出は大幅なディスカウントを余儀なくされており、「外貨流入」の観点ではやはり減少していると考えるのが一般的な見方である。

ベネズエラ 経済規模で他国と大きな差

次ページでは、参考までに IMF が公表している他の中南米諸国（アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、ペルー）の基礎経済指標を記載している。

2025 年時点のベネズエラの「一人当たりの GDP」は 3102.9 ドル。4 カ国の中で最も「一人当たりの GDP」が低いコロンビア（8249.2 ドル）でも約 2.7 倍の開きがある。

また、2022 年からは減少に歯止めがかかったもののベネズエラの人口は約 2670 万人であるのに対して、人口が最も少ないペルーでも約 3440 万人と大きな差がある。

率直に言って、中南米諸国の経済は米国による采配次第である。昨今、コロンビアについては、トランプ政権との関係が悪化しており、支援金の打ち切りなど経済に実害も出始めている。

万が一、コロンビアで左派政権が続くようであれば、トランプ政権が続く 2028 年までに国が破壊される懸念も現実的になるだろう。

表：アルゼンチンの主要経済指標

項目	単位	2022年	2023年	2024年	2025年
国内総生産（GDP）	10億ドル	633.5	648.9	637.2	683.4
一人当たりGDP	ドル	13,702.2	13,908.5	13,523.3	14,358.8
実質GDP成長率	%	6.0	△ 1.9	△ 1.3	4.5
インフレ率（平均値）	%	72.4	133.5	219.9	41.3
財・サービス輸入増減率	%	12.5	5.9	△ 23.4	23.5
財・サービス輸出増減率	%	△ 4.9	△ 13.6	28.8	6.6
人口	百万人	46.2	46.7	47.1	47.6
失業率	%	6.8	6.1	7.2	7.5
歳入（対GDP比）	%	33.8	32.3	31.5	32.2
歳出（対GDP比）	%	37.6	37.6	31.0	31.8
政府債務（対GDP比）	%	84.3	154.6	84.7	78.8
経常収支（対GDP比）	%	△ 0.6	△ 3.2	0.9	△ 1.2
経常収支	10億ドル	△ 4.0	△ 20.8	5.7	△ 8.1

表：ブラジルの主要経済指標

項目	単位	2022年	2023年	2024年	2025年
国内総生産（GDP）	10億ドル	1,951.8	2,191.1	2,179.4	2,256.9
一人当たりGDP	ドル	9,256.5	10,350.4	10,252.0	10,577.9
実質GDP成長率	%	3.0	3.2	3.4	2.4
インフレ率（平均値）	%	9.3	4.6	4.4	5.2
財・サービス輸入増減率	%	0.7	0.8	10.0	4.2
財・サービス輸出増減率	%	6.1	9.4	△ 0.3	3.0
人口	百万人	210.9	211.7	212.6	213.4
失業率	%	9.3	8.0	6.9	7.1
歳入（対GDP比）	%	39.5	37.6	39.5	39.6
歳出（対GDP比）	%	43.4	45.3	45.7	48.0
政府債務（対GDP比）	%	83.9	84.0	87.3	91.4
経常収支（対GDP比）	%	△ 2.2	△ 1.3	△ 2.7	△ 2.5
経常収支	10億ドル	△ 42.2	△ 27.9	△ 57.9	△ 56.6

表：コロンビアの主要経済指標

項目	単位	2022年	2023年	2024年	2025年
国内総生産（GDP）	10億ドル	345.6	366.3	418.8	438.1
一人当たりGDP	ドル	6,687.6	7,015.0	7,947.8	8,249.2
実質GDP成長率	%	7.3	0.7	1.6	2.5
インフレ率（平均値）	%	10.2	11.7	6.6	4.9
財・サービス輸入増減率	%	24.0	△ 12.4	2.8	5.6
財・サービス輸出増減率	%	12.5	2.2	2.2	0.3
人口	百万人	51.7	52.2	52.7	53.1
失業率	%	11.2	10.2	10.1	10.0
歳入（対GDP比）	%	27.7	32.2	28.4	27.5
歳出（対GDP比）	%	34.1	35.1	34.6	34.5
政府債務（対GDP比）	%	61.3	55.5	61.2	58.9
経常収支（対GDP比）	%	△ 6.0	△ 2.3	△ 1.7	△ 2.3
経常収支	10億ドル	△ 20.9	△ 8.3	△ 7.3	△ 10.1

表：ペルーの主要経済指標

項目	単位	2022年	2023年	2024年	2025年
国内総生産（GDP）	10億ドル	248.2	271.8	294.7	318.5
一人当たりGDP	ドル	7,431.9	8,057.3	8,649.5	9,255.7
実質GDP成長率	%	2.8	△ 0.4	3.3	2.9
インフレ率（平均値）	%	7.9	6.3	2.4	1.7
財・サービス輸入増減率	%	2.4	△ 1.4	8.9	9.3
財・サービス輸出増減率	%	2.5	3.9	5.2	1.8
人口	百万人	33.4	33.7	34.1	34.4
失業率	%	7.8	6.8	6.4	6.5
歳入（対GDP比）	%	21.7	19.3	18.7	19.4
歳出（対GDP比）	%	23.1	22.1	22.3	21.8
政府債務（対GDP比）	%	33.5	32.4	32.2	32.1
経常収支（対GDP比）	%	△ 4.0	0.3	2.2	1.8
経常収支	10億ドル	△ 10.0	0.9	6.4	5.6

以上